令和７年度　江戸川区立南小岩小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	よく考える子（重点）　　思いやりのある子　　たくましい子			目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	「学校・家庭・地域が共に補い合い、三位一体で児童を共育する南小岩小」⇒【教育環境の創造】 「すべての児童が一つでも多くの自己実現を果たそうとする南小岩小」⇒【学力向上】【心力向上】【体力向上】 【学力向上：授業で勝負する教師】【心力向上：児童の心の声を待つ・聴く・受け止める教師】　【体力向上：心身共に健康な教師】
前年度までの本校の現状	成果	児童：校内研究(特別の教科道徳)と柱に挨拶などを通して相手を慮る心を育み心力向上を目指すことができた。 教師：校庭と校舎の両方が完成し、教育活動が円滑に推進できた。		課題	児童：心力向上を育むことを通して、児童の自己肯定感を高め、学力や体力を区や都の平均以上にすることを目指す。 教師：教職員が一丸となり、課題に対して組織で対応できる力をより一層高めていくことを目指す。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○学力の向上 授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・学力調査に基づく、指導の充実	・毎学期の管理職の授業観察やOJTによる授業力向上の授業改善を実施											
		・ミライシード内「ドリルパーク」を活用した基礎・基本の徹底	・ドリルパークの定着率が７０%以上											
		・タブレット端末を活用した協働的な学びの実現	・タブレット端末を活用した授業を1日に1時間以上実施											
	○読書科の更なる充実	・読書科における、探究的な学習の実施	・探究的な学習を全学年で年１回以上実施											
		・調べ学習コンクール等への参加	・コンクール応募率を60%以上。もしくは、調べるコンクール以外にも応募											
体力向上	○運動意欲や基礎体力の向上	・全校運動遊びの充実	・全校運動遊びの内容を充実させ、週１回実施。											
		・体育授業の充実	・指導内容の充実と体力テストで全項目を昨年度の数値をより向上。											
		・食育・歯の健康	・食後の歯磨きを１５０回以上実施。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○学びのユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・学びのユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級経営・授業の創造	・特別支援学級や特別支援教室の児童に加え、特別な配慮を必要とする児童の個別指導計画の作成を100%											
	○エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジルームの保護者への理解啓発	・学校だより等でエンカレッジルームを紹介											
	○特別支援学級との交流、副籍交流及び共同学習の実施・充実	・みつばち学級と通常学級の積極的な交流	・みつばち学級児童との授業や給食交流を月１回以上実施											
不登校・いじめ対応の充実	○不登校対策の実施・充実	・学校の居場所づくり、絆づくりに向けた取組及び、いじめ対策委員会を設置し、いじめの兆候があった場合は学校組織で対応できるようにする	・保護者・地域アンケートで、思いやりの心の育成についての肯定的な回答７０%以上											
	○教育相談の強化	・SC及びSSW等連携したケース会議の実施	・SC及びSSWとの連携を週１回以上実施及びSCと５年生の全員面接100%の実施											
	○「L-gate」の実施　の活用	・毎日「L-gate」を実施し児童の心の変容を把握	・毎週１回の生活指導夕会で情報共有											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○ホームページ更新、学校公開の実施・充実	・保護者・地域向けのお知らせや学校ホームページの充実	・週１回以上更新											
	○教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・フォームズやテトルを活用した学校評価を計画的、保護者に周知	・保護者等アンケートで、学校の教育活動への理解についての肯定的な回答８０%以上											
特色ある教育の展開	○心力向上 心豊かな児童の育成	・全教育活動を通した道徳教育の推進	・全学級年間35時間以上の道徳授業											
		・家庭と連携した道徳教育の実践	・全体保護者会、道徳授業地区公開講座、学校だより巻頭言等で保護者に協力依頼											
	○心力向上 心をこめた挨拶の励行	・全教職員で挨拶の励行、校長は２００日以上正門で出迎え	・校長は、年２００日以上、正門で「心をこめた挨拶」の率先垂範											
	○働き方改革の推進	・週案を毎週金曜日の提出とする	・週末はゆっくりと休めるようにする											